

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	買い物、散髪、外食、自宅への外泊、公民館活動など地域資源を利用し地域の中でごく普通に暮らす。	○ 認知症出前講座・一泊の温泉旅行
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	月一回開かれるGH会議で、より分かりやすい言葉で共有できるよう個別ケアを具体化する為の話合いが行われている。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	散歩、買い物時地域の方と積極的に話しをする。家族会・推進会議など開催し意見をお聞きすると共に生活状況報告もしている。	運営推進会議、家族会などの開催 広報サルビア・GH新聞の発行
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	・回覧版を受け取り次のお宅へ利用者と一緒に行く。 ・夏野菜直売所の野菜を日常的に買い、馴染みの関係を作っていく。決まった時間に散歩などしているとできる馴染みの関係を大切にする。	散歩などで出会った地域の方々にGHへのお誘いの声かけを気軽にしている。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	行事の際は併設の福祉施設と一緒にいき地域の方から協力をえている。シルバーの集い・三九郎などの地区行事に参加している。 小、中学生との交流もある。	サルビア祭の案内状を利用者さんと配布する。

グループホーム サルビア

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員 の状況や力に応じて、地域の高齢者等 の暮らしに役立つことがないか話し合 い、取り組んでいる	併設している福祉施設と一緒に介護教 室を開き介護方法・認知症・介護保 険制度について情報を発信している。	○	認知症出前講座の開催
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価 及び外部評価を実施する意義を理 解し、評価を活かして具体的な改 善に取り組んでいる	新メンバーになり介護度も変わ っているため、個々に応じた具 体的役割や居場所を考えてい る。(下膳方法・食器洗いなど)		
8	○運営推進会議を活かした取 組み 運営推進会議では、利用者やサ ービスの実際、評価への取 組み状況等について報告 や話し合いを行い、そ こでの意見をサー ビス向上に活かし ている	要望に応じた勉強会の開催	○	隣組の方にGH・認知症を知 っていただく為、GH新 聞作り利用者さんと一緒 に配布する。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運 営推進会議以外にも行き 来する機会をつくり、 市町村とともにサー ビスの質の向上に 取り組んでいる	梓川支所で行われてい る事例検討会、報告 会に管理者が出席 している。		
10	○権利擁護に関する制 度の理解と活用 管理者や職員は、地 域権利擁護事業や 成年後見制度につ いて学ぶ機会を持 ち、個々の必要 性を関係者と話し 合い、必要な人 にはそれらを活 用できるよう支 援している	対象となる利用 者が居るため、 (保佐人) 包 括センター職 員と相談しなが ら支援してい る。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、 高齢者虐待防止 関連法について 学ぶ機会を持 ち、利用者の 自宅や事業所 内で虐待が見 過ごされな いよう注意を 払い、防止 に努めている	研修参加しGH 会議で報告す るとともに、 具体例によ り職員の意 見をきく機 会をもち ている。		

グループホーム サルビア

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>GH見学後まずご本人、ご家族の想いを聴くようにしています。そのうえで分かりやすい言葉で納得していただく説明をしています。</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>管理者が通常勤務ではなく、事務所にいる時は特に自分の想いを事務所で話される内容をGH会議で検討しケアプランに反映している。</p>	松本市派兼相談員月1回来所
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>2ヶ月に1回の割合で会計帳簿等を見ていただきながら、利用者の生活状況を話す。</p>	面会后事務所前のテーブルにて、職員とご家族が気軽に話せる場所を設けている。
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族会・運営推進会議の開催</p>	○ ご家族の想いを受け止めサービス担当者会議にも出席していただく。
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月一回のGH会議や、個別面談を行い意見を聞くよう心掛けている。また日頃から対話に努め職員の想いを聞き出すよう心掛けている。</p>	GH会議などでは、具体的にテーマを決め話し合っている。
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>管理者は外出・行事など必要に応じ柔軟な勤務をくむ体制が整えられている。</p>	○ 4人勤務の日など遅番の時間ずらし夕食作り・夕方の入浴をしていく

グループホーム サルビア

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>18</p> <p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>法人全体の中で介護介護技術等向上目的で特養との異動もある</p>		<p>馴染みの関係を作る為、異動回数をなるべく少なくして欲しい。</p>
<p>5. 人材の育成と支援</p>			
<p>19</p> <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>施設内外での研修への参加と職員への内容の報告をしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月一回の勉強会 ・併設施設への全体研修にも参加している。 		<p>チューター制度を利用し新人育成に努めている。</p>
<p>20</p> <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>GH相互評価に協力的 近くのGHとの職員の勉強会・相互研修がある。</p>		
<p>21</p> <p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・福利厚生事業（職員相互の親睦）併設施設なので、全体での交流クラブ活動。 ・出勤時や退勤時の一人ひとりの健康状態の把握や悩みの聴き取り。 		<p>気軽に話せる雰囲気作りに努めている。</p>
<p>22</p> <p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・兼務で管理者もシフトに入る為、利用者の状況、職員の悩みも把握できる。 ・評価制度の取り組み（目標に向かっての努力他、自主参加の研修も含む） ・半期ごとの面接の中で総合的に職員の意見や悩み等の聞き取り。 		<p>チューター制度の取り組み</p>

グループホーム サルビア

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	事前面接で生活歴や生活状態をより細かく把握し、相談があった場合、本人の意向に添った関わりをしています	○	アセスメントシートなどを通じ職員間で情報の共有を図る。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	談話スペースで他の方に遠慮することなく話せる雰囲気作りをしている。		
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	まず本人、家族の想いを受け止める。GH本来の目的をお話し、目的が身体介護ならば他のサービスを紹介する。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	最初は自宅にもどる機会が多く気軽に外泊・外出できるようにご家族と話し合いながら、自由に選択できる時間をさりげなく作っている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	食事作りなどで教えていただく事が沢山あります。 野菜の切り方教えていただく。	○	針仕事や着物着付け、畑仕事などを通じて学ばせていただく機会を作り出す。

グループホーム サルビア

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	・ 外食、外出など家族、利用者、職員と一緒に楽しむ機会を作り出す。 ・ 本人の誕生会などに家族も交え皆で祝うお茶会をもうけている。		・ 家族が経営するラーメン店に利用者と一緒に出掛けたり、家族・利用者・職員とで外食を楽しむ ・ 家族も参加で一緒に昼食を作る。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	・ 家族が気軽に来所される雰囲気作り ・ GHでの活動、表情が伝わるGH新聞・写真集を作り家族など来られたときに伝わるようにしている。		面会に来た際に職員からご本人の日常の様子の情報提供をし、ご家族からの要望を聴く。 食事会・鍋会など家族、利用者、職員で楽しむ。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外出時など馴染みの場所を目的地として計画する。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	散歩の時など車椅子を押していただく。習字クラブなど互いに声掛け合い参加する仲間作りをしている。	○	2, 3人の小グループで話せる環境作り。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	家族または、本人の身体等都合により、併設されている福祉施設に入所された方に利用者と面会に行く。		遠方の方に手紙を出す

グループホーム サルビア

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	拒否な場合は無理強いはしない。食べたい物、行きたい場所、利用者の意見を聞き計画に取り入れる	本人の好みを取り入れた外出
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	個人史がひとめで分かるようアセスメントされ、ファイルされている。	利用者の暮らしてきた中で得意とするものを、GHの暮らしの中に組み込んでいる（習字・草取り・針仕事）
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々の日誌、支援経過表への記録	○ ・多面的、総合的に把握できるような記録の方法、職員間の共有化。 ・本人の声を記録に残している。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	月一回のGH会議には個々人のモニタリングを行う。面会後家族の気付きやアイデア等聞きケアプランに反映させるための話し合いをしている。	○ 本人の要望・家族の要望暮らし方から看取りまでを職員全員が共有化して認識する。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状態が変化した場合などプラン見直し変更をしている。また家族、利用者の意見により見直し変更もしている。 (重要な送りは、赤ペンでの記入)	

グループホーム サルビア

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の生活記録に生活状況を記入し少しの変化でも見逃さないようにしている。		<ul style="list-style-type: none"> ・申し送りノートの利用、要点のみ記入している。 ・個別に支援経過表に月2回記入している。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている			
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	防火避難訓練の実施。ボランティアの協力により、月一回の生け花教室、おそばの日など計画している。	○	公民館活動参加 保育園運動会見学の計画をしていく。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	他市の方も申し込みがあるが、原則として松本市住所の方と伝え、希望されているサービス事業者の案内をしている。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	1名の対象者が居るので、包括支援センターと相談のうえ、行っている。		

グループホーム サルビア

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者、家族の意思を大切にしている。入所前の医師での継続受診。主治医による定期受診また往診も受けている。		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	GHでの生活を見てもらい相談し、薬の量など調整し支援している。	○	定期的に行いたい
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	併設されている福祉施設のナースより助言をいただく。		<ul style="list-style-type: none"> ・GH内にナースが居ないので看護に詳しい方をまねき勉強会を開きたい。 ・松本のGH勉強会への参加
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	骨折時など入院のためレベル低下しないよう医師と相談し早期の退院を考え支援した。		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	<ul style="list-style-type: none"> ・終末期に本人、家族の意思をしっかりと確認し職員間で十分な話し合いをしておく。 ・家族了解のもと必要と思われる場合は、医師の往診を行っている。 		
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	本人家族の意思を考えての対応をしている。		<ul style="list-style-type: none"> ・併設の福祉施設へ希望される場合はその意志にそう支援を行う。 ・GHでの生活を希望されれば、主治医と連携を図り看取りにむけたチームケアをしている。

グループホーム サルビア

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	介護福祉施設への住み替えの場合も暮らしを含め、ケアもダメージを受けない様しっかりと施設ケアマネと細かく話しあっている。		GHでの暮らしが分かる様、施設のアセスメントシートに記入していく。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	・排泄などの超え掛けは、ご本人の耳元で、他の方に聞こえないようにしている。	○	・排便状況など回りに配慮し話している。 ・ドアは閉める ・赤ちゃん言葉の方にはつい赤ちゃん言葉になってしまう。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	・本人のやりたい事があつたら拒否せず行っただき、満足感を味わっていただく。 ・衣類の選択、食べたい物、また、利用者の希望される話を聴く。		入居者希望が表出されるような関わりの上で添うことが必要
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・居室へ行きたくない人は夜スタッフとこたつで横になるなどしている。 ・朝「起きたくない」と言われる時体調・気持ちを考えての対応（ゆっくり起きていただくなど）をしている。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	・本人の馴染みの美容室に行かれる方もある。 ・気に入った洋服の選択ができる雰囲気作りをしている。		・朝の洗面・整髪を可能なかぎりご本人あるいは、一緒に行っている。 ・理髪と外食を楽しむ期会を作っている。

グループホーム サルビア

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		<p>利用者と一緒に考え、また昼利用者が食べたい物を作る。おやき・饅頭・漬物・梅漬けなど作り季節を楽しむ</p>
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		<p>・買い物時など本人の好む食材を選んでいただく。 ・日本茶だけでなく、随時コーヒー・紅茶・昆布茶・リンゴジュースなど本人の希望を聞く。</p>
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	○	<p>・入浴以外の人も足湯など楽しむ ・本人の入浴したい希望に添っている。</p>
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	○	<p>・懐かしい音楽 ・園芸・生け花や昔懐かしいおやつ作り ・施設レク参加（習字、絵手紙） ・布草履作りできあがることの楽しみ</p>

グループホーム サルビア

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族と相談し本人とも話し合いながら金額を決め居室にある。		買い物時など本人が買えるようお金を渡す。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	午前中買い物と一緒に掛ける。 天気の良い日など車椅子の方も近所に散歩に行く、散歩コースもだいたい決まっているので、顔なじみの方もおり畑の花を頂いたりなどしている。	○	地域で散歩、外出など楽しめる目的作り。(あの店に行こう。あの家の花を見にいこう。子供たちに会いに行こう。公民館活動に参加しよう。等)
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	・GH外出マニュアル作成 ・その方の誕生日の日など本人の行きたい所に出掛ける期会を作っている。 ・春(花見)秋(紅葉)に外出、家族も同行する期会も作っている。	○	地域のイベントに利用者が参加する楽しみを持つ。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・ご家族からよく手紙が届きます。また、利用者の様子など手紙にし出している。 ・電話したいと申し出があれば、事務所より落ち着いて電話ができる。		利用者と一緒に年賀状、暑中見舞いのはがきを書き出している。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	・子供を連れ気軽に来ていただく雰囲気作りをしている。 ・訪問時間にはとくにこだわらず、仕事の帰りなどに寄ってもらうなど、いつでも尋ねて来ていただけるような配慮をしている。		玄関ホールにゆっくり話せるスペースを作っている。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・事故報告書記入し職員間で話し合う。 ・マニュアルを熟読し取り組んでいる。	○	車椅子を自操しない方も本人の希望を聞き、長時間同じ体勢でいないよう心掛けている。

グループホーム サルビア

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	○	併設なので、施設の利用者がGH玄関から出ていかれる可能性もある。またGH利用者が施設の玄関から出られる可能性も考慮し連携必要と感じる。
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		併設の施設に利用者一人で行かれる場合見守りしているが、さらにこまめな気遣いが必要とGH会議などで話し合っている。
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> ・事故報告書・ヒヤリハットなど書くなどして、GH会議で話し合い知識を高めるようにしているが、すばやい情報の共有化に努めていく。 ・リスクマネジメントにしっかりと取り組む。
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>		
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・近所とのふれあいを、さらに多くしていく。 ・昼・夜を想定して、定期の避難訓練をおこなっている。 ・こまめな、電気・ガス・消化器等の点検チェックを行っている。

グループホーム サルビア


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	・家族会などで、気軽に意見を出していただく様心がけている。 ・面会后など家族に近況をお伝えするとともに、自由とリスクなどについても話している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	・日々の記録及び連絡ノート等利用し、情報の共有化を図っている。 ・緊急時などは携帯・メールなど使い早い対応に心掛けている。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人の薬の内容を把握している。		・副作用について、もっと理解し早期対応を心掛けたい。 ・定期的に主治医をまねき勉強会をする。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	・運動・体操を日々の暮らしの中に取り入れている。 ・便通に良いお茶、(くわの葉茶)など飲んでいただいています。		・水分摂取困難な方などには、ゼリーなどの工夫をしている。 ・個々人に応じた飲み物と排便関係を職員が把握している。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	GHサルビア口腔ケアマニュアル作成 ・個々人出来ない部分の支えと見守りをしている。		
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・食事中はTV消し食事に集中出来るよう、また会話をしながら食事が出来るような環境にしている。 ・朝食、夕食は管理栄養士が入った施設と同じメニューとなっている。	○	・ゆっくり食事が出来るよう職員がバタバタしない ・昼食については、市役所健康作り課に相談しカロリー計算などしていく。 ・糖尿病と食生活を職員が学ぶ

グループホーム サルビア

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	GHサルビア口腔ケアマニュアル作成	○	<ul style="list-style-type: none"> 委員会、全体研修などで知識を深めている。 出勤、退勤時など職員のうがい徹底 面会時など家族にもお願いをしている。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	<ul style="list-style-type: none"> 食器の消毒・乾燥など行っている。 できあえの惣菜などではなく、新鮮な野菜、肉魚を買って調理している。 		台所の衛生管理を定期的に行っていく。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関前には、花の植木鉢を置き明るい雰囲気になっている、また、誰でも気軽に入出入りできるよう施錠はしていない。		併設の為GH入り口が分かりづらいので、手作りの看板をつくり玄関脇に置いてある。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花を生けたり、生活音以外の不快音のないよう配慮をしている。		職員同士の会話に気を付ける。（排泄など）
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> 冬期間窓側にはコタツを作り皆で集う場所がある。 玄関フロアで気の合った人と話せるスペースがある。 		

グループホーム サルビア

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>83</p> <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・利用者の言われた「ママ」の写真がある。</p> <p>・利用者さんの作品（絵手紙・習字）が居室に飾ってある。</p>		
<p>84</p> <p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>・毎朝換気（利用者施設内散歩時）をしている。</p> <p>・夜間湯たんぽ希望される方には使用していただいています。</p> <p>・体調により加湿器夜間使用される方もある。</p>		<p>空調の風利用し、乾燥予防の為タオルなど干している。</p>
<p>85</p> <p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>生活リハビリを一緒に行っている。（洗濯干し等）</p>		<p>トイレ、廊下、浴室に手すりを設け本人の意欲をひき出している</p>
<p>86</p> <p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>・居室入り口に自分の好みの、のれんがある。</p> <p>・入り口に名札がある。</p>	○	<p>自分で分かる椅子の目印。</p>
<p>87</p> <p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>畑、花壇のスペースがあり、利用者と共に土に楽しみ、収穫の喜びを共有している。</p>		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

グループホーム サルビア

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

居心地の良い環境作り。(季節・利用者の体調など考慮しながら)
散髪、外食、買い物、公民館活動で地域資源を利用し梓川でくらししていることを感じて頂いています。